

女性

男性

～「この1年間に経験した」と「今年やってみたい」学び事・習い事～

ケイコとマナブ 2014年度 人気おケイコランキング

- 「英語」は11年連続不動の1位。

学ぶ目的はこの10年で変化。「就職・転職」「資格試験」よりも、「海外旅行」「仕事のため」に。

- 「医療」「宅建」などが順位アップ。キャリアチェンジや自己投資を目的とした習い事が復調の兆し。

- 「自由に使えるお金が減った」と感じる層ほど、仕事・資格取得目的の習い事の予算は高め。

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村吉弘）が企画編集をするスクール情報誌『ケイコとマナブ』と資料請求＆レッスン予約サイト『ケイコとマナブ.net』は、学び事・習い事（※）事情を把握するため、全国の20～34歳の働く男女を対象に「人気おケイコランキング」調査を毎年実施しています。このたび、2014年12月に実施したアンケート結果をご報告いたします。

※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む

●2014年度 人気おケイコランキング～この1年間にやった学び事・習い事～ 女性 …P.4

「英語」は11年連続不動の1位

「医療」「宅建」「幼児教育」などキャリアチェンジ・自己投資を目的とした 習い事の順位が上昇

医療事務や看護師など幅広くキャリアチェンジに対応できる「医療」が9位から5位にジャンプアップ。他、「ペン字」「アロマテラピー」「宅建」「幼児教育」といった習い事の順位が上昇。

【学ぶ目的】 上昇傾向にあった「プライベートの充実」志向は一段落。

一方、前回調査で比率を落としていた「仕事のため」「就職・転職のため」…P.5
「独立・起業のため」といった自己投資目的が復調の兆し。

●「英語」を学ぶ目的の変化

女性 …P.6

10年間（2004年～2014年）で、「就職・転職」「資格試験」が減少、

一方「海外旅行」「仕事のため」が増加

当社が2004年に実施したアンケート結果と比較したところ、「英語」を学ぶ目的は大きく変化。

「海外旅行のため」「仕事のため」といった、活用するシーンが具体的な目的はポイント上昇。

一方「就職・転職」「英語の資格試験」といった目的はポイントが低下した。

●学ぶ予算

女性 …P.8、9

「自由に使えるお金が減った」と感じる人ほど、仕事・資格取得の目的に割く予算は 高くなる傾向

仕事・資格取得を目的として学ぶ場合、この1年で1ヶ月あたりに「自由に使えるお金が増えた」と感じる人よりも「減った」と感じる人のほうが、割く予算が高くなる傾向にある。

●男性の2014年度 人気おケイコランキング、2015年 人気おケイコ予測

男性 …P.10

1位は「英語」で人気が集中。一方、法律・会計系は順位・実施率を下げた資格が多く見られた。

「今後やってみたい学び事・習い事」も約半数が英語を挙げた他、「ビジネススクール・MBA」を希望する人が増加。

【本件に関するお問い合わせ先】

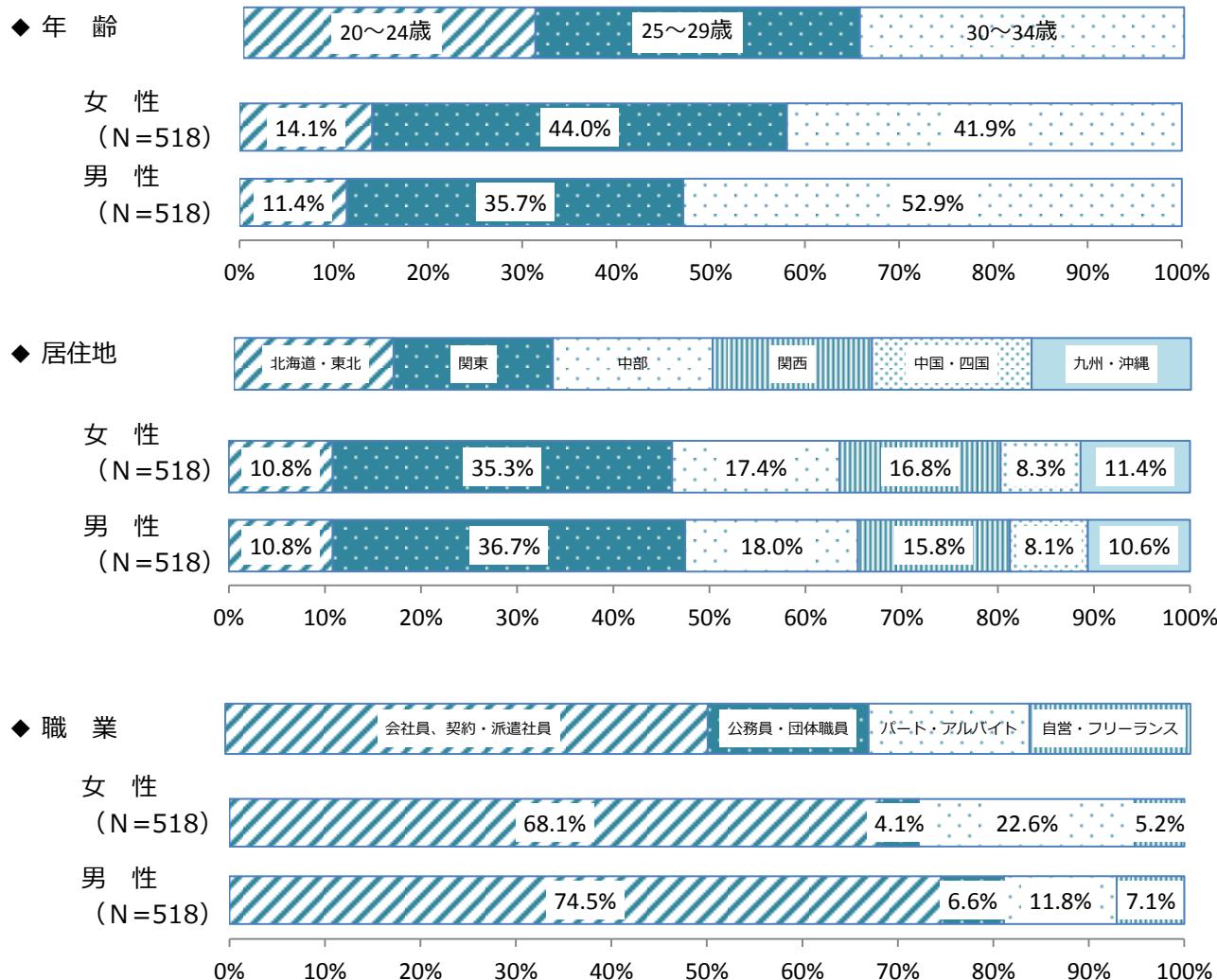
<https://www.reruit-lifestyle.co.jp/support/press/>

調査概要と回答者プロフィール

【2014年度 調査概要】

- 調査目的 : 過去1年間の学び事・習い事の実態を把握するとともに、今後の意向を確認する
- 調査対象者 : 全国20~34歳の働く男女
(株式会社マクロミルのモニターにスクリーニングを行い、
学び事・習い事を「1年以内にしたことがある」と回答した者に対して実施)
- 調査方法 : インターネットアンケート調査
- 調査期間 : 2014年12月12日(金)~2014年12月14日(日)
- 回収数 : 女性:518名 男性:518名
あらかじめ設定した下記の6ブロックの地域から、平成22年国勢調査の人口比率で男女別に回収
・北海道・東北地方 (北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)
・関東地方 (東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県)
・中部地方 (愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県)
・関西地方 (大阪府、京都府、奈良県、兵庫県、滋賀県、和歌山県)
・中国・四国地方 (岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県)
・九州・沖縄地方 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

【回答者プロフィール】



【調査対象の学び事・習い事一覧】

1	英語
2	フランス語
3	イタリア語
4	スペイン語
5	中国語
6	韓国語
7	ワード・エクセル
8	アクセス
9	WEBクリエイティブ
10	DTP
11	S E・プログラマ
12	簿記
13	宅地建物取引主任者
14	税理士
15	行政書士
16	司法書士
17	ファイナンシャル・プランナー
18	中小企業診断士
19	社会保険労務士
20	公認会計士
21	ビジネススクール・MBA
22	CPA
23	インテリアコーディネーター
24	CAD
25	ライター・編集・シナリオ
26	心理・カウンセリング
27	医療(看護・医療事務など)
28	ホームヘルパー
29	幼児教育(保育士・ベビーシッターなど)
30	ブライダルコーディネーター
31	エステティシャン
32	整体・マッサージ
33	トリマー
34	ヴォーカル・カラオケ
35	ゴスペル
36	ピアノ
37	バイオリン
38	フルート
39	サックス
40	ウクレレ
41	ギター
42	ドラム
43	琴
44	三味線・三線
45	絵画
46	陶芸
47	ジュエリー・アクセサリー
48	編み物・刺しゅう
49	写真・カメラ

50	家庭料理
51	フランス料理
52	イタリア料理
53	中華料理
54	エスニック料理(ベトナム、タイ、インド)
55	日本料理・懐石料理
56	パン
57	お菓子
58	お茶(紅茶、煎茶、中国茶)
59	ワイン・チーズ
60	メイク
61	カラー(コーディネート、セラピー)
62	ネイル
63	アロマテラピー
64	リフレクソロジー
65	茶道(抹茶)
66	マナー・フィニッシング
67	着付け
68	フラワーアレンジメント
69	ブリザーブドフラワー
70	生け花
71	ガーデニング
72	書道
73	ペン字
74	フィットネスクラブ
75	エアロビクス・ボクササイズ
76	ゴルフ
77	テニス
78	乗馬
79	ダイビング
80	サーフィン・ボディーボード
81	ヨガ・ピラティス
82	ウォーキング
83	太極拳
84	護身術
85	日本舞踊
86	社交ダンス
87	バレエ
88	ジャズダンス
89	ストリートダンス
90	タップダンス
91	フラメンコ
92	フラダンス
93	サルサ
94	アルゼンチンタンゴ
95	ベリーダンス
96	その他

【調査概要一覧】

	回収数	調査期間	対象者	調査方法
2014年度	1036名	2014年12月12日～14日	全国20～34歳の働く女性・男性 (条件は下記同様)	インターネットアンケート調査
2013年度	1036名	2013年12月14日～16日		
2012年度	1034名	2012年12月20日～21日		
2011年度	518名	2011年12月16日～18日		
2010年度	519名	2010年12月 2日～ 3日	全国20～34歳の働く女性 (※株式会社マクロミルのモニターに スクリーニングを行い、学び事・習い事を 「1年以内にしたことがある」と回答した 者に対して実施)	インターネットアンケート調査
2009年度	519名	2009年12月 2日～ 3日		

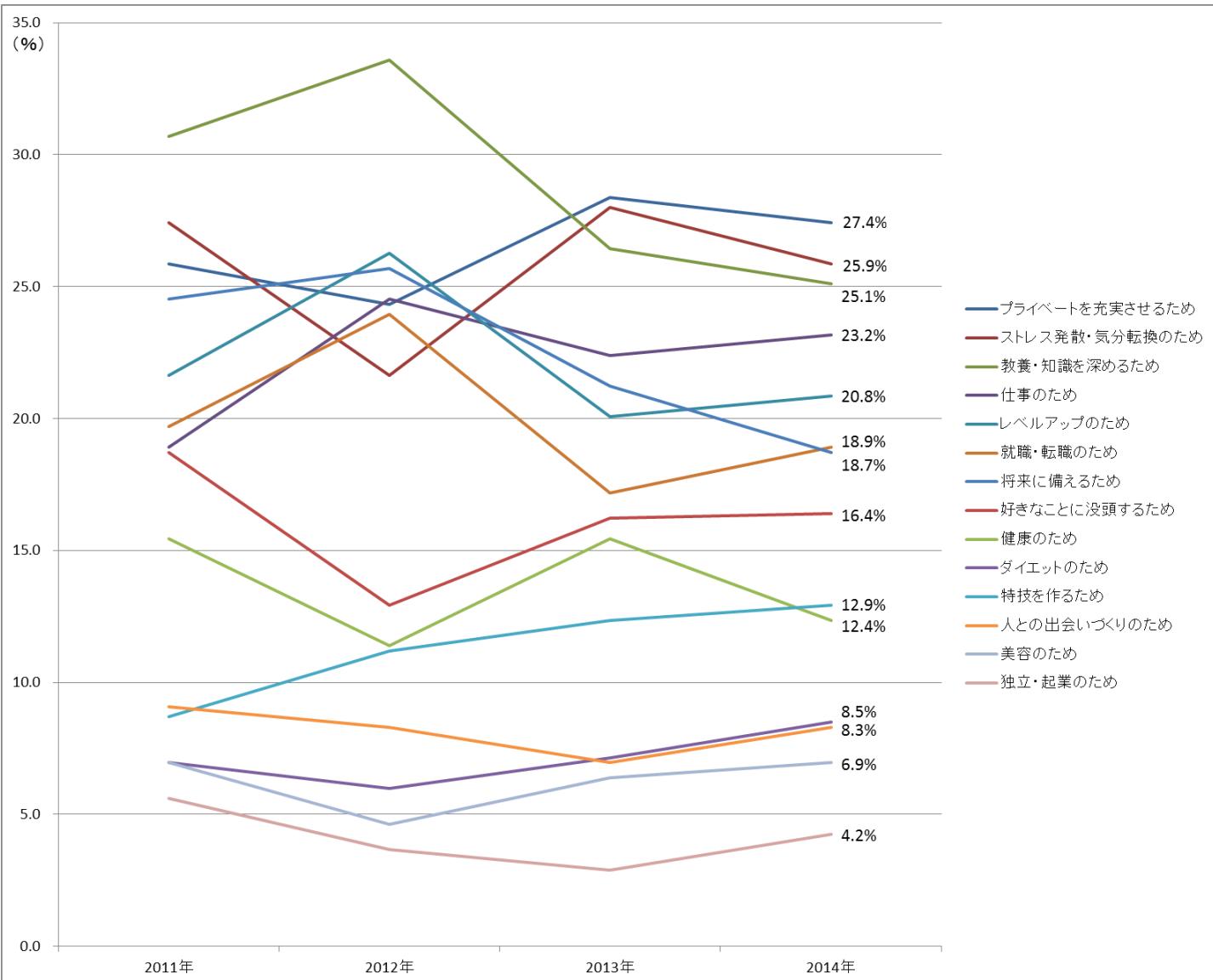
「仕事のため」「就職・転職のため」「独立・起業のため」など、キャリアへの投資に関わる目的の習い事が復調の兆し。

この1年間でやった学び事・習い事についてその目的を聞いたところ、順位に大きな変動はないものの、近年上昇傾向にあった「プライベートを充実させるため」(2013年28.4%→2014年27.4%)、「ストレス発散・気分転換のため」(同28.0%→25.9%)、「教養・知識を深めるため」(同26.4%→25.1%)といったプライベートの充実を目指す項目はわずかずつながらポイントを落としている。

一方、前回順位を落としていた「仕事のため」(2013年22.4%→2014年23.2%)、「レベルアップのため」(同20.1%→20.8%)、「就職・転職のため」(同17.2%→18.9%)、「独立・起業のため」(同2.9%→4.2%)といった自らのキャリアに投資するための習い事が復調の兆しを見せている。また「将来に備えるため」という回答は(2012年25.7%→2013年21.2%→2014年18.7%)とダウン傾向が続いているが、同じ自己投資でも、漠然と将来のためというよりも、具体的な目的をもって臨む人が増加していると考えられる。

【学び事・習い事の目的 (複数回答3つまで)】

(11年-14年 N=518)



英語を学ぶ目的は「就職・転職」「資格試験」目的から、 具体的な活用シーンを想定したものへとこの10年間で大きく変化。

調査開始以来11年にわたり「学んだ習い事」「学びたい習い事」のトップである「英語」について、今回は「どんな目的で学んだのか」を新たに調査した。選択肢は、弊社が2004年に発行していたムック『ケイコトマナブEnglish』で実施した読者アンケートと同じ設問とし、2004年のデータを参考値としてその学ぶ目的の変化を見てみた。

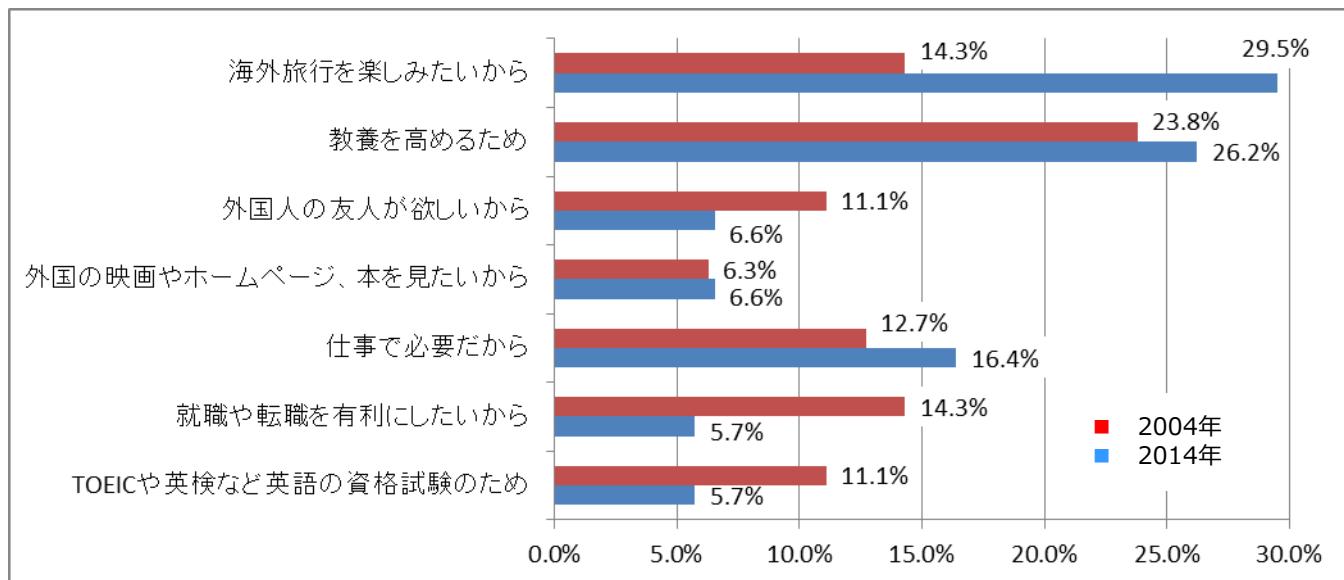
ポイントを伸ばしているのは「海外旅行を楽しみたいから」（15.2ptアップ）、「仕事で必要だから」（3.7ptアップ）といった、自分が学んですぐに英語でのコミュニケーションを実施すること前提にした目的。逆に下げているのは「就職や転職を有利にしたいから」（8.6ptダウン）、「TOEICや英検など英語の資格試験のため」（5.4ptダウン）という結果となった。

これらは共に、現時点では具体的な使用場面が想定されているわけではなく、「いつか使う」将来のために備えて学んでおこうと考える人が選択すると考えられる項目。

この10年で仕事においてもプライベートにおいても英語が身近なものとなり、就職や転職、資格取得といった「いつか使う」ことを目的として学ぶ傾向よりも、海外旅行や仕事など具体的な活用シーンを想定して学ぶ時代になってきたのではないかと考察できる。

【英語を学ぶ目的（単一回答）】

（2014年 N=122（英語を学んだ人）、2004年『ケイコトマナブEnglish』読者アンケート N=63）



趣味目的の学びへの予算は全体に上昇傾向が続く。

一方、仕事や資格取得の目的では、「予算上限」が上昇に転じた。

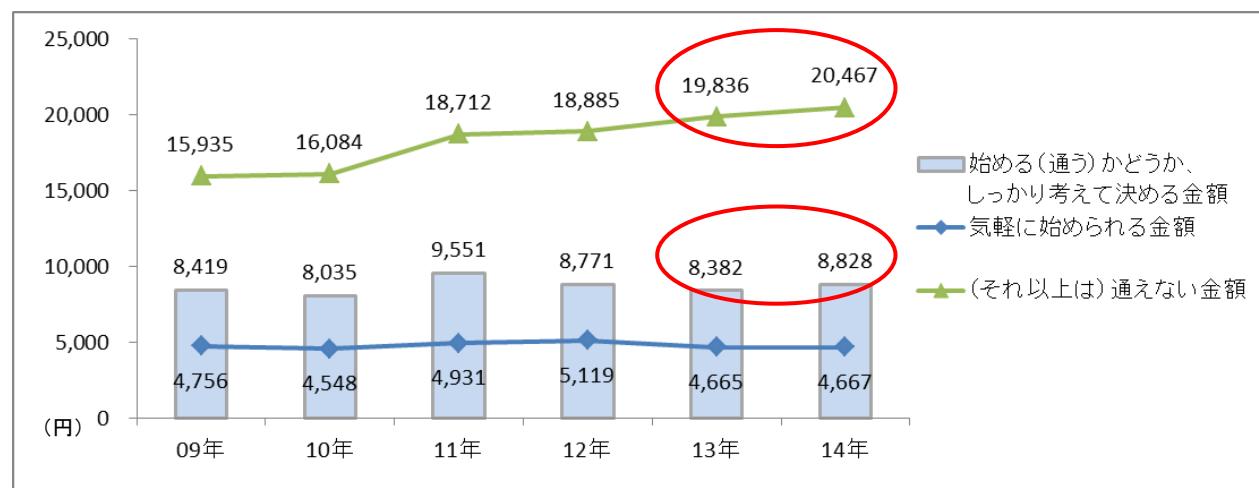
学び事・習い事にかけられる金額について、「気軽に始められる金額」「始めるかどうかしっかり考えて決める金額」「（それ以上は）通えない金額（＝予算上限）」の3種類に分けて調査した。

趣味目的の習い事では、「気軽に始められる金額」は昨年とほぼ同水準だったものの、「しっかり考えて決める金額」「通えない金額」の平均はともに上昇。特に「通えない金額（＝予算上限）」の平均額は、調査開始以来はじめて2万円を超える最高金額となった。

一方、**仕事や資格取得が目的の場合の金額**（目標達成までにかけられる総額）は、「気軽に始められる金額」の平均が-1,825円、「始める（通う）かどうか、しっかり考えて決める金額」の平均が-455円とわずかずつ減少したものの、予算上限である「（それ以上は）通えない金額」については1,871円と上昇し、2011年以来の高水準をキープ。仕事や資格取得を目的とする場合、一定の予算を確保する必要があると想定されていることがうかがえる。

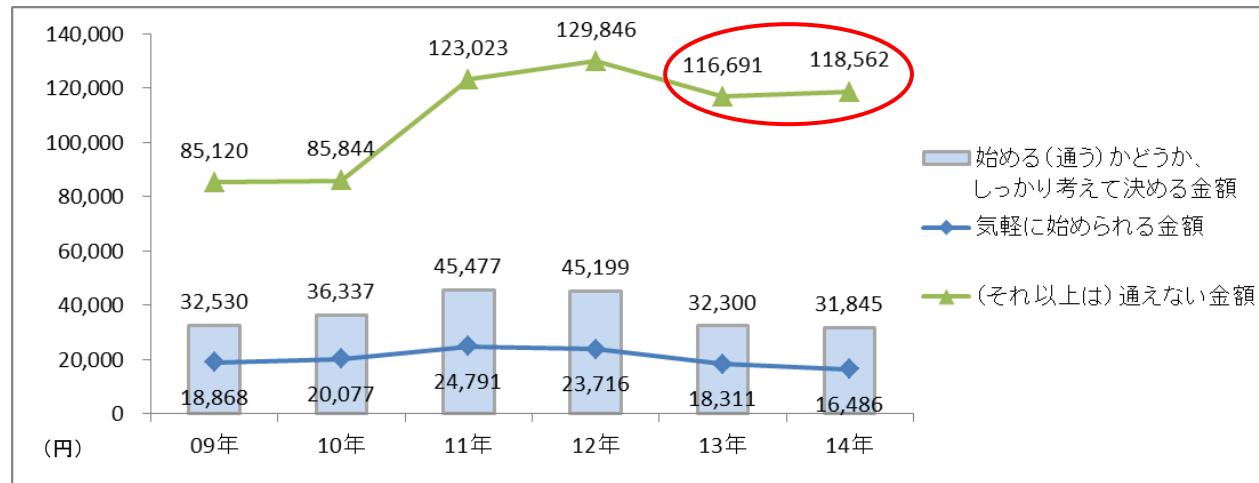
【趣味目的の習い事にかけられる金額（1ヶ月あたり）】

(11年-14年 N=518, 09年-10年 N=519)



【仕事や資格取得の目的でかけられる金額（目標達成までの総額）】

(11年-12年・14年 N=518, 13年 N=517, 09年-10年 N=519)



仕事や資格取得を目的とする習い事の場合、

「自由に使えるお金が減った」という人のほう、「増えた」という人よりも
 「始めるかどうか、しっかり考えて決める金額」および
 「(それ以上は) 通えない金額(予算上限)」が高くなっている。

2014年は給与アップや消費税増税などお金にまつわる変化があった年。そこで今回の調査では、この1年で「自由に使えるお金」が「増えた」「減った」のどちらと感じているかを問い合わせ、学び事・習い事にかけられる金額との関連を調査した。

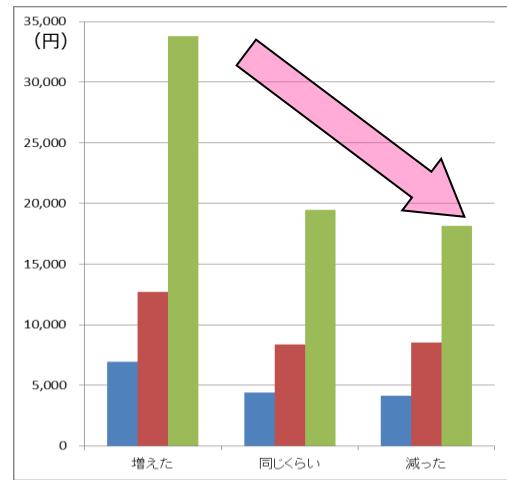
趣味目的の習い事については、「自由に使えるお金」が「増えた」と感じている人は、「気軽に始められる金額」「始めるかどうか、しっかり考えて決める金額」「(それ以上は) 通えない金額」すべてにおいて予算規模が大きい。

一方、仕事や資格取得が目的の場合の金額（目標達成までにかけられる総額）では、傾向は逆転。「気軽に始められる金額」こそ「増えた」と答えた人のほうが高いものの、「始めるかどうか、しっかり考えて決める金額」「(それ以上は) 通えない金額」とともに、「自由に使えるお金が減った」と答えた人のほうが高くなっている。使えるお金の減少がもたらす不満や危機感が原動力となって、仕事や資格取得の学びに対しては投資する必要性をより強く感じているのではないかと考えられる。

【趣味目的の習い事にかけられる金額（1ヶ月あたり）】

	全体平均	この一年の自由に使えるお金の変化		
		増えた	同じくらい	減った
気軽に始められる金額	4,667	6,958	4,405	4,129
始める(通う)かどうか、しっかり考えて決める金額	8,828	12,710	8,386	8,536
(それ以上は) 通えない金額	20,467	33,817	19,463	18,122
		(円)		
N	518	60	291	135
		(人)		

- 気軽に始められる金額
- 始めるかどうか、
しっかり考えて決める金額
- (それ以上は) 通えない金額

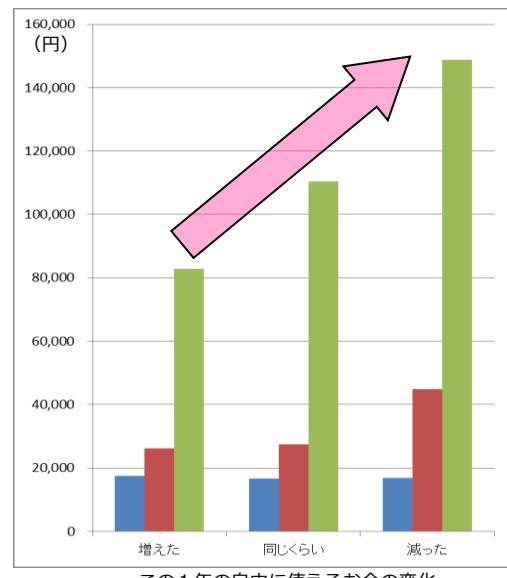


この1年の自由に使えるお金の変化

【仕事や資格取得の目的でかけられる金額 (目標達成までの総額)】

	全体平均	この一年の自由に使えるお金の変化		
		増えた	同じくらい	減った
気軽に始められる金額	16,486	17,508	16,710	16,880
始める(通う)かどうか、しっかり考えて決める金額	31,845	26,258	27,493	44,826
(それ以上は) 通えない金額	118,562	82,783	110,418	148,879
		(円)		
N	518	60	291	135
		(人)		

- 気軽に始められる金額
- 始めるかどうか、
しっかり考えて決める金額
- (それ以上は) 通えない金額



この1年の自由に使えるお金の変化

■スクールや講座選びでの重視項目

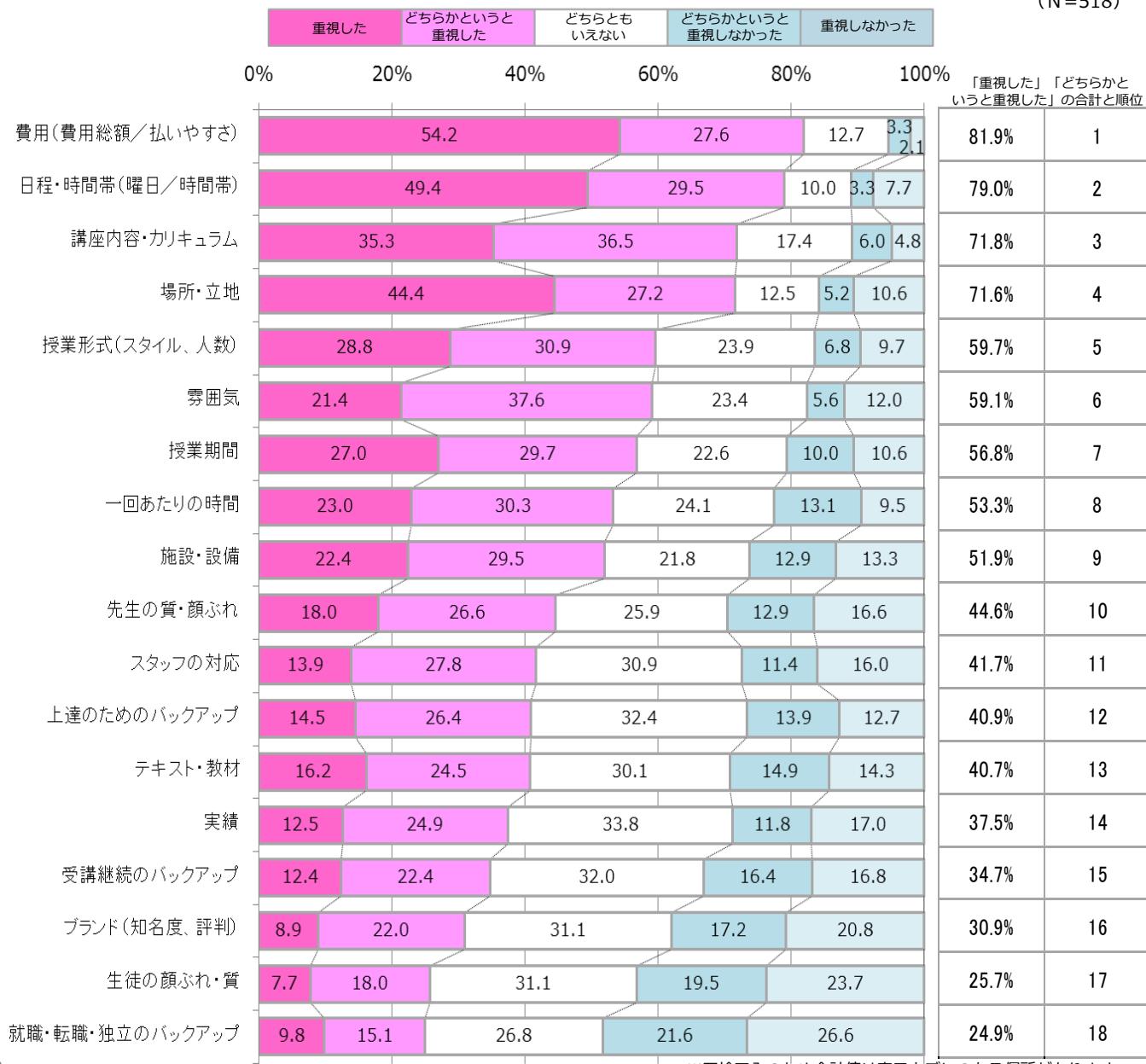
「費用」「日程」「立地」だけではなく、「講座内容・カリキュラム」「授業形式」などスペック情報ではわからない項目も重視されている。

スクールや講座を選ぶ際に何を重視しているかを調べるために、昨年に続いて5択で重視度を調査した。最も高かったのは「費用」(81.9%)、次いで「日程・時間帯」(79.0%)。2014年は「講座内容・カリキュラム」(71.8%)が「場所・立地」(71.6%)を上回った。ほかにも、「授業形式」(59.7%)「雰囲気」(59.1%)といった、スペック情報ではわからない項目も重視されていることがわかる。

【スクールや講座選びで重視した項目】

この1年間にやった学び事・習い事のうち、「最もやってよかった学び事・習い事」を1つ選んでもらい、その際のスクール・講座選びにおいて、下記の各項目について重視したかどうかを5択で聞いた

(N=518)



※四捨五入のため合計値は表示上ズレのある個所があります。

■検索ワードの種類／検索ワードの発見経路

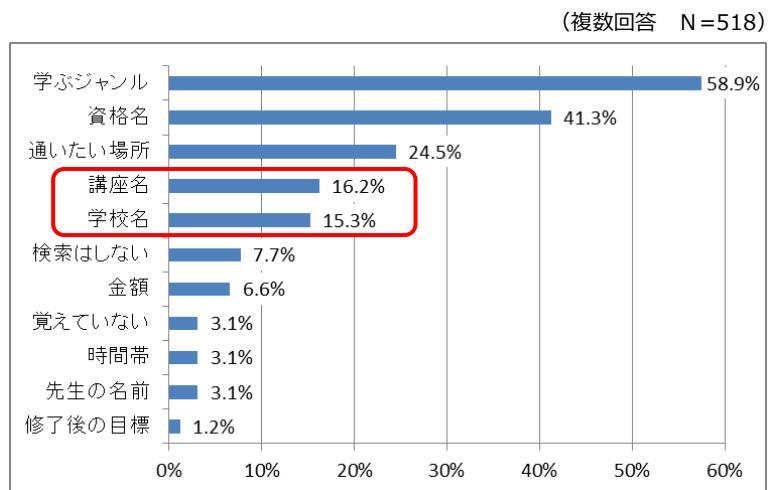
検索ワードとして使用している言葉は「学ぶジャンル」「資格名」「立地」に加え、「講座名」「学校名」。また、検索ワードの発見経路は、口コミのほか、『ケイコとマナブ』や雑誌・新聞などネット以外の情報源を利用。

今回の調査では、「学び事・習い事を探す際どのような言葉で検索をしているか」、また「その言葉はどこで発見したか」を聞いた。

【検索の際に使用するキーワード】

学び事に関して、GoogleやYahoo!などの検索エンジンでキーワードを入れて検索を行う場合、どんな言葉で検索を行うか聞いた。

「学ぶジャンル」「資格名」「通いたい場所」といった項目に続き、「講座名」「学校名」が検索時に使用されており、検索時にはすでに具体的な検討が進んでいる場合が多いことがうかがえる。



【検索ワードの発見経路】

さらに、上記設問のキーワードはどの媒体で発見したものか、発見経路を聞いた。

使用する検索ワードの発見経路では、「友人・知人などの意見や紹介」に続き、「ケイコとマナブ」(11.3%)、「一般雑誌の記事・広告」(8.9%)。他に、「ホットペッパー」や「チラシ」「新聞紙面の記事・広告」、またムックの「稼げる資格」が挙げられるなど、検索ワードを探す際には紙媒体が多く挙げられた。

学校のパンフレットやテレビ番組、交通広告なども挙げられており、多くの場合、**学び事・習い事をネットで検索する場合は、そのキーワードはネット以外から得ている傾向**にあるようだ。

